

10月「理科 地層ができるしくみ」

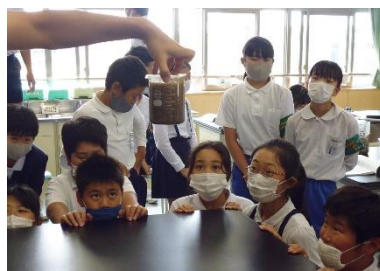
10月の理科は「大地のつくり」を学習しています。この中の実験で、流れる水のはたらきによって、どのように地層ができるのかを確認しました。

川に見立てた「とい」に、大雨に見立てた水を流し、砂やどろを含む土が、海や湖に見立てたビーカーに、どのようにたい積していくのかを観察しました。



先生が「とい」に水を流し込むと、砂やどろが一体となってビーカーに流れ込みました。

ビーカーはいったんひどくにごりましたが、しばらくすると砂が下に、どろが上にたまり、きれいな層を見せました。



子どもたちも自分たちで実験に取り組み、地層ができるしくみを楽しみながら学習していました。

